「令和４年度　第１回北杜市障がい者施策推進協議会」　会議録

１　会　　議　　名　令和４年度　第１回北杜市障がい者施策推進協議会
２　開　催　日　時　令和５年２月３日（金）１４時００分～１５時３０分
３　開　催　場　所　北杜市役所　西会議室
４　出　　席　　者　（敬称略）
【会　長】小松二三子
【委　員】岡田宗一郎、大塚鈴枝、大柴政敏、中沢朝征、津田健夫、
伊部和寿、坂本誠、河野めり子、清水毅
【市役所】介護支援課長：白倉充久、健康増進課長：浅川知海
こども保育課長：齊藤栄慶、ネウボラ推進課長：河手貴
教育総務課長：鷹左右紀
【事務局】福祉保健部長：清水市三、福祉課長：櫻井義文
福祉課障害福祉担当：高橋真貴子、平澤薫
福祉課障害者支援担当：佐野友美、谷戸美季、鶴田竜也
【手話通訳士】佐藤君子、望月香代
５　欠　席　委　員　（敬称略）
小澤亮、藤巻真美、飯室正明、山縣初美
６　会議録署名委員　（敬称略）
伊部和寿、坂本誠
７　公開・非公開の別
公開
８　傍　　聴　　人
なし
９　会　議　内　容
１）開会
２）会長あいさつ
３）自己紹介
４）議事
①　北杜市障がい者施策推進協議会について
②　「北杜市障害福祉計画（第６期計画）・北杜市障害児福祉計画（第２期計画）」令和３年度実績報告について
③　「第３次北杜市障害者計画」令和３年度実績報告について
④　その他
５）閉会

会　議

１）開会
２）会長あいさつ
３）自己紹介
４）議事

（会長が議長となり議事を進行）

議　長：議事に入る前に、本日の会議の議事録署名人を選任する。議事録については、北杜市審議会等の会議の公開に関する要綱第９条に基づき、協議会で指名する者２名の署名が必要となる。本日の署名人は、坂本委員と伊部委員にお願い申し上げる。なお会議は公開であるため、議事録は市のホームページ等で公開するが御承知おきいただきたい。それではこれより議事に入る。委員の皆様には、忌憚のない御意見をお願いしたい。

議題①北杜市障がい者施策推進協議会について

事務局：資料１―１、１－２に基づき説明

【質疑なし】

次期、第４次障害者計画の計画期間を６年計画とすることが承認された。

議題②「北杜市障害福祉計画（第６期計画）・北杜市障害児福祉計画（第２期計画）」令和３年度実績報告について

事務局：資料２―１、２－２、２－３に基づき説明

説明中、資料の訂正を行った。

・「資料２－２」のサービスの種類「就労定着支援」について、「今後の見通し・課題」の欄内の「適切なサービス提供ができるよう関係機関と」の後に「連携していく」を追記する。

・「資料２－２」裏面のサービスの種類「計画相談支援」の行、「実績」の列、令和２年度実績「３９６」を「３３」、令和３年度実績「３９１」を「３２」に訂正。このことにより令和３年度の達成率は「３５５％」から「２９％」となり、評価は「A」から「D」に訂正。

委　員：「資料２－１」、【目標１】地域生活への移行者を増やすため、グループホーム等施設の利用を促すことが計画にあるが、現状、コロナ禍や、社会参画の面から、施設の利用イコール地域生活への移行とはならないと思う。箱から違う箱に移っただけで、効果があまりないのではないかと思うがいかがか。

また、これについて意味を持たすためには、例えば施設の運営方針等について市としての方向性やビジョンを示す必要があるのではないか。

事務局：次期計画の策定時に検討事項としたい。

委　員：「資料２－１」、【目標４】の表の見方がよくわからない。目標数値は単年度でみるのか、累計でみるのか。
事務局：令和５年度に達成すべき目標として、令和３年度と４年度は目標数値が入っていない。単年度としてみると認識しているが、再度確認する。

委　員：「資料２－１」、【目標３】地域生活支援拠点等における機能の充実の専門的人材の確保については、強度行動障害支援者養成研修、医療的ケア児等コーディネーター養成研修など専門性の高い県の研修を修了し、事業所に配置されている人材はカウントをしているか。相談支援主任研修を修了されている相談員も相談体制を強化する専門的人材としてカウントしてもよいのではないか。
事務局：目標数値及び実績数値は、韮崎市と共同で設置している峡北地域障がい者自立支援協議会の地域生活支援拠点部会の開催回数を入れている。地域生活支援拠点については、今後も専門的人材の育成を含め、機能の充実に向け働きかけていく。

委　員：「資料２－２」、計画相談支援系の見込値が甘いため計画の評価は良い。サービスの見込量と連動した数値設定が次期計画では必要ではないか。
事務局：計画相談支援の数値に、算出方法の誤りがあり大変申し訳なかった。訂正により計画相談支援は目標値を下回る。次期計画では実績と見込みに合わせた目標設定としたい。

委　員：１月、２月の数値は反映されているのか。
事務局：今回お示しした内容は令和３年度の実績となり、令和３年４月から令和４年３月までの期間となるため、１月、２月の数値も反映している。

議題③「第３次北杜市障害者計画」令和３年度実績報告について
事務局：資料３に基づき説明

委　員：「資料３」、障害児支援について、「療育・保育の充実」及び「個々に応じた教育の推進」に示される事業と連動しながら、一人の子どもであるという視点で、地域の子どもが利用する社会資源での育ちも保証した施策を今後も進めていただきたい。
また、国が示す「子ども家庭センター設置」の市の状況を教えていただきたい。
事務局：次期障害者計画は、障害福祉計画及び障害児福祉計画と始期を合せて策定するため、障害児の支援についても一体的に検討していく。
現在、市では子育て世代包括支援センターにおいて、母子保健、妊娠、出産、子育てに関する支援、また家庭児童相談室として、虐待やＤＶの相談や、要保護児童の支援などの機能を持っている。「子ども家庭総合支援拠点」は、母子保健と児童福祉を総合的に支援していく機能であり。令和５年４月から、高根の保健センターにその機能が加わる。また統括支援員として両方をつなぐ職員の配置も令和６年度の「こども家庭センター」に向け準備しているところである。

委　員：「資料３」、相談支援・情報提供・権利擁護体制の整備について、かざぐるまは、令和３年度まで民間事業者からの相談員が配置され、基幹相談支援センターとしての機能が強化されていた状況があったが、現在は民間相談員の配置がない。障害者支援の拠点となり、他機関とのハブ的機能を果たす中核的なセンターであるため、人員体制や官民協働などの更なる強化について検討していただく必要があると感じる。また、不足する計画相談支援の対応について、県内で唯一で計画相談事業を行っている体制であり、さらに一歩進めた人員の増員なども検討していただきたい。

事務局：現状、民間に委託することは、市内民間事業所も人手不足な状況があり困難であるが、計画相談員のニーズが高まっている状況から、相談員１名、会計年度任用職員の採用を募集しているところである。官民協働については、かざぐるまでの計画相談事業所連絡会を通じて、今後も意見交換を図っていく。

議題④その他

全体を通じて、また議事に関わらない意見などを募った。

委　員：令和３年度の実績に基づき、計画値を修正し、令和４年度の取り組みを行うというのがＰＤＣＡサイクルになるので、そのタイミングで施策推進協議会が実施されるのが望ましいと考える。

事務局：協議会の開催時期が遅れたことについてお詫び申し上げる。来年度については、計画の策定と合わせて、早い段階で令和４年度の点検評価をいただき次年度の施策に繋げたい。

委　員：資料について、縦や横など向きが不均一で少し見づらい。

事務局：貴重な意見をありがたく思う。次回は、紙の大きさ向きなど、見やすくなるよう改善を図りたい。

５）閉会

以上

会議録署名委員＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

会議録署名委員＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿